



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

一般選抜壮行会！ 夢に向かい 力を尽くせ



代表2名の決意表明



心を込めてエールを送る



頑張れ一般選抜受験生

3月5日(月)の5校時、3年棟のホールで6日に行われる一般選抜に際し、受験する仲間たちにエールを送る「一般選抜壮行会」を行いました。この壮行会は毎年、前期選抜に合格した生徒が中心となって、一般選抜受験者の頑張りを讃えながら、入学試験に臨む士気を高めることを目的に実施してきました。これは「学校行事」ではありませんが、3年部が毎年継承してきたもので、由利中の特色のひとつといえます。

最初に先生方からは「昔は高校入試は3教科だった。」「自分は集合時間5分前に来たのにすでにみんなが集まっていて、まるで遅刻したみたいに思われてしまった。」など、自分の経験を取り上げ、みんなの緊張感をほぐすお話をしてくれました。ちなみに高校入試が3教科以前は9教科の時代もあったそうです。

また、〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんが「全員合格を目指して頑張ります。」と力強く「決意表明」をのべてくれました。その後、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの3人がエール担当となり、前期選抜合格者による「応援団」が、17名に心のこもったエールを送りました。

そして、最後に私から「合格のための秘策」を授けましたが、これは「門外不出」のため校報には書かないことにします。

入試前日ということもあって、最初は緊張した雰囲気が漂う3年棟でしたが、壮行会が始まると次第に笑顔が見られるようになりました。3年生にとって高校入試は、自分自身の手で、自分の進路を決めるという「人生初の大舞台」となります。帰宅後、一人になればますます緊張することを予想して、できるだけリラックスした「和やかな雰囲気」を作り出そうとする先生方や仲間の思い、その気持ちをしっかり受け止め「明日は頑張るんだ」と気持ちを鼓舞する17名の思いが重なり合った、とても「心が温かくなる」壮行会でした。

3年生に学ぶ会 しっかり受け継いでいこう



2年生のコーディネーター



3年生のパネリスト



真剣に聴き入る下級生



お礼の言葉

3月5日（月）の6校時、3年ホールで1・2年生を対象に「3年生に学ぶ会」を行いました。これは3年生の代表6名による高校受験の「模擬面接」を見学し、「高校受験に向けて今から頑張れることは何か」、「進路をどのように決めていったらいいのか」など、自己の進路選択の参考とする集会です。

「模擬面接」では、3年生から自分たちの「動作」「姿勢や表情」「話し方」の3点をポイントにして見学するようにアドバイスがありました。面接官役の3年生からは「志願動機」や「高校で頑張りたいこと」「部活動」の他に、中学校時代に経験した「職場体験」や「ボランティア活動」などについても質問されました。1・2年生にとって、面接で自分たちの普段の学校生活についても聞かれるということには新鮮な驚きがあったようです。

また、「質疑応答」では1・2年生から「勉強にやる気が出ないときはどうしたらいいですか。」、「今からやっておいたほうがいいことはありますか。」、「休日の学習の仕方はどうやったらいいですか。」など沢山の質問が出ました。それに対して「勉強開始の時間や休憩時間を工夫する。」、「勉強をやりたくない時でもともかく机に向かう。」、「受験勉強として、今から中間・期末テストで間違ったところを必ず見直しをすることが大切だ。」、「テスト準備としては無理のない必ず達成できる学習計画を立てること。」、「休日はできるだけ夜型でなく、昼型の学習を行う方が効果的。」、「普段から苦手教科に時間をかけることが大切だ。」など、今日からすぐにも取り組める有意義なアドバイスを3年生から聞くことができました。模擬面接や質疑応答の受け答えを見ていると、受験を乗り切った自信が言葉や態度に表れていて「さすが3年生」と感心させられました。

最後に、お礼の言葉を2年生2人が発表してくれました。○○○○さんは「普段の生活を大切にするために、挨拶や授業態度など改善していきたい。」、○○○○○さんは「集中力や自分に合った学び方をこれからしっかり身に付けていきたい。」と、3年生から学んだことをこれからの学校生活にいかしていく決意をのべてくれました。

「受験勉強は3年生になってから始まるのではなく、1・2年生の時からすでに始まっているのだから、毎日の生活を大切にして欲しい。」という3年生の思いを、後輩たち一人一人が「由利中生の伝統」として、しっかりと受け継いでいってほしいものです。大変有意義な集会となりました。